

「ヒャクキン」「びじゅばふお」「新食動研」3WG 合同

開催日：2019年8月1日（木）

開催時間：20時25分～

開催場所：ふれあい歯科ごとう

出席者：五島、藤巻、臼井、袴田、飯塚、林、清水、辻、栗原、佐藤、稲山、臼井、田口

【画像をみながら、臼井さん解説】

- 100均のもので何か作れるものがないかということで始めたのが「ヒャクキン」そこで開発されたのが、スプーンにクリップをつけて握る方法。他の自助具では握るのが前提になる。動作として、中間位で食べるのが一般だが、握る方法により回内・回外握りは関節可動域が狭くなる。
- 手根間症候群の方にクリップにぎりをさせたところ、やらせかというくらい食べる動作が改善された。
- 先日の新食動研で分析した結果、今まで手でスプーンの握りが弱い分、そこに集中してしまったが、クリップ握りとなったとたんにそこに集中する必要がなくなったということだと考えている。さらに、ゆとりが出るためか、器を持って食べるようになった。体幹も安定する
- 使った方の感想は、持ちやすいが…
- 対立つまみをすると、高齢者の場合、母指球の筋肉が弱ってくるので隙間が広がってしまう。
- 生活歴はクリーニング屋さん。汚れるのが嫌というのが根底にあった。ムース状のものがすべて食べられた理由が「食べこぼす心配がなかった」からということだった。
- びじゅばふおは、びじゅあるメインでやっていて、いくつか動画をとっている。…アームレストを外している理由は、動きが狭くなるからである。
- 器を持ちやすい方法が何かないのか？と考えているが…「HUGZBAR」という商品は取っ手もついていて、簡単にはめやすいものがある。他にもいろいろとある。
- ヒャクキンはどんどんアイデアを開発し、新食動研でフィードバックをしていくという流れでやっていこう。びじゅばふおはスクリーニングテストをして…気づいていないことが多いと分かる。入所時など定期的に検診を1回行うという流れができれば良い。できなければ訓練をする流れにすればよい。

【次回予定】新食動研・びじゅばふお

開催日：2019年10月3日（木）

開催時間：20時00分～

場所：ふれあい歯科ごとう

【次回予定】ヒャクキン

開催日：2019年9月11日（水）

開催時間：19時30分～

場所：ふれあい歯科ごとう